第１問対策　実践問題（答案用紙）

問題 1

	借方科目	金　額	貸方科目	金　額
1				
2				
3				
4				
5				

問題 2

	借方科目	金　額	貸方科目	金　額
1				
2				
3				
4				
5				

問題 3

	借方科目	金　額	貸方科目	金　額
1				
2				
3				
4				
5				

問題 4

	借方科目	金　額	貸方科目	金　額
1				
2				
3				
4				
5				

問題 5

	借方科目	金　額	貸方科目	金　額
1				
2				
3				
4				
5				

問題 6

	借方科目	金　額	貸方科目	金　額
1				
2				
3				
4				
5				

第２問対策　実践問題（答案用紙）

問題 1

問１

売買目的有価証券　　8

日付 年	日付 月	日付 日	摘要	仕丁	借方	貸方	借／貸	残高
×1	5	1						

有価証券利息　　26

日付 年	日付 月	日付 日	摘要	仕丁	借方	貸方	借／貸	残高
×1	5	1						

問２　有価証券売却（　　）：¥＿＿＿＿＿＿

※（　　）内には「損」または「益」を記入すること。

問３　（A）当期末時点での満期保有目的債券勘定の次期繰越額：¥＿＿＿＿＿＿

（B）有価証券利息の当期発生額　　：¥＿＿＿＿＿＿

問題１の下書きシート（必要に応じてご利用ください。試験では下書きシートはつきません）

問１　勘定記入（取引の仕訳）

⑴　×１年の仕訳

①５月１日（取得日）の仕訳…仕訳帳のページ数は「　　」

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

②６月30日（利払日）の仕訳…仕訳帳のページ数は「　　」

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

③10月31日（売却日）の仕訳…仕訳帳のページ数は「　　」

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

④12月31日（利払日）の仕訳…仕訳帳のページ数は「　　」

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

⑵　×２年の仕訳

①１月31日（売却日）の仕訳…仕訳帳のページ数は「　　」

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

②３月31日（決算日）の仕訳…仕訳帳のページ数は「　　」

ⓐ売買目的有価証券の評価替え

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

ⓑ利息の未収計上

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

ⓒ損益振替

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

③４月１日（期首）の仕訳…仕訳帳のページ数は「　　」

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

問２　有価証券売却損益の計算

問３　満期保有目的債券の場合（取引の仕訳）

⑴　×１年の仕訳

①５月１日（取得日）の仕訳

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

②6月30日（利払日）の仕訳

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

③12月31日（利払日）の仕訳

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

⑵　×2年3月31日（決算日）の仕訳

①償却原価法による帳簿価額の調整

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

②利息の未収計上

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

問題 2

（単位：円）

	(A)利子込み法	(B)利子抜き法
㋐リース資産（取得原価）		
㋑減価償却費		
㋒リース債務 （未払利息を含む）		
㋓支払利息	――	
㋔支払リース料		

問題2の下書きシート（必要に応じてご利用ください。試験では下書きシートはつきません）

（A） 利子込み法

［A備品（ファイナンス・リース取引)］

①取得時の仕訳

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

②リース料支払時の仕訳

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

③決算時の仕訳

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

［C備品の仕訳（ファイナンス・リース取引)］

①取得時の仕訳

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

②決算時の仕訳

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

［B備品（オペレーティング・リース取引）］

①取得時の仕訳

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

②決算時の仕訳

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

（B） 利子抜き法

［A備品（ファイナンス・リース取引）］

①取得時の仕訳

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

②リース料支払時の仕訳

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

③決算時の仕訳

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

［C備品の仕訳（ファイナンス・リース取引）］

①取得時の仕訳

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

②決算時の仕訳

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

［B備品（オペレーティング・リース取引）］

①取得時の仕訳

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

②決算時の仕訳

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

問題 3

問 1

	借方科目	金　額	貸方科目	金　額
(1)				
(2)				
(3)				

問 2

借方科目	金　額	貸方科目	金　額

問 3

	借方科目	金　額	貸方科目	金　額
(1)				
(2)				
(3)				

問題3の下書きシート（必要に応じてご利用ください。試験では下書きシートはつきません）

問2　除却、改定償却率

⑴　期首減価償却累計額

×5年度（1年目）

①当初の償却率（0.4）で算定した減価償却費：

②償却保証額：

③判定：

×6年度（2年目）

①当初の償却率（0.4）で算定した減価償却費：

②償却保証額：

③判定：

×7年度（3年目）

①当初の償却率（0.4）で算定した減価償却費：

②償却保証額：

③判定：

×8年度期首減価償却累計額

減価償却累計額：

⑵　当期の減価償却費

①当初の償却率（0.4）で算定した減価償却費：

②償却保証額：

③判定：

当期の減価償却費

問題 4

問1

銀行勘定調整表
×年3月31日

当座預金勘定の残高			( )
(加算) [ ]	( )		
[ ]	( )		( )
(減算) [ ]	( )		
[ ]	( )		
[ ]	( )		( )
銀行残高証明書の残高			( )

問2 〔資料1〕

借方科目	金額	貸方科目	金額

〔資料2〕

借方科目	金額	貸方科目	金額

※ 決算整理仕訳は、各行に1組ずつ記入すること。

問3 現　　金 ¥＿＿＿＿＿＿　　当座預金 ¥＿＿＿＿＿＿

問題4の下書きシート（必要に応じてご利用ください。試験では下書きシートはつきません）

[当座預金の修正仕訳]

ア.〔　　〕(　　)〔　　〕(　　)
イ.〔　　〕(　　)〔　　〕(　　)
ウ.〔　　〕(　　)〔　　〕(　　)
エ.〔　　〕(　　)〔　　〕(　　)
オ.〔　　〕(　　)〔　　〕(　　)

[両者区分調整法による銀行勘定調整表]

両　者

当社の残高		銀行の残高	
㊉：		㊉：	
		㊉：	
㊀：		㊀：	

問題 5

株主資本等変動計算書

自×3年4月1日　至×4年3月31日　　（単位：千円）

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
当期首残高	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
当期変動額				
剰余金の配当等				
新株の発行	（　　）	（　　）		（　　）
吸収合併	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
当期純利益				
当期変動額合計	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
当期末残高	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）

下段へ続く

上段より続く

	株主資本					
	利益剰余金					株主資本合計
	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金合計	
		新築積立金	別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	（　　）	0	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
当期変動額						
剰余金の配当等	（　　）	（　　）		（　　）	（　　）	（　　）
新株の発行						（　　）
吸収合併						（　　）
当期純利益				（　　）	（　　）	（　　）
当期変動額合計	（　　）	（　　）	0	（　　）	（　　）	（　　）
当期末残高	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）

問題5の下書きシート（必要に応じてご利用ください。試験では下書きシートはつきません）

①剰余金の配当等

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

②新株の発行

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

③吸収合併

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

④当期純利益の計上

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

問題 6

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ

サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ

問題 7

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)

第３問対策　実践問題（答案用紙）

問題 1

精　　算　　表

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金預金	180,260							
受取手形	45,800							
売掛金	80,000							
売買目的有価証券	64,800							
繰越商品	16,800							
建物	1,680,000							
備品	130,000							
ソフトウェア	10,000							
満期保有目的債券	29,600							
その他有価証券	14,500							
支払手形		13,000						
買掛金		67,600						
借入金		200,000						
貸倒引当金		420						
建物減価償却累計額		806,400						
備品減価償却累計額		46,800						
資本金		700,000						
利益準備金		72,000						
任意積立金		207,000						
繰越利益剰余金		63,000						
売上		1,254,500						
有価証券利息		900						
仕入	970,300							
給料	200,500							
支払家賃	4,560							
支払利息	4,500							
	3,431,620	3,431,620						
貸倒引当金繰入								
有価証券評価（　）								
その他有価証券評価差額金								
商品評価損								
棚卸減耗損								
減価償却費								
（　　）償却								
（　　）家賃								
（　　）利息								
当期純（　　）								

問題 2

精　　算　　表

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	96,650							
当座預金	246,750							
受取手形	270,000							
売掛金	261,000							
売買目的有価証券	679,250							
繰越商品	210,000			210,000				
建物	2,250,000							
備品	675,000							
建設仮勘定	600,000							
満期保有目的債券	588,000							
支払手形		238,250						
買掛金		200,000						
未払金		15,000						
貸倒引当金		10,000						
商品保証引当金		13,000						
借入金		300,000						
建物減価償却累計額		1,316,250						
備品減価償却累計額		329,400						
資本金		2,125,000						
利益準備金		98,000						
繰越利益剰余金		84,000						
売上		8,129,400						
有価証券利息		24,600						
仕入	5,723,250			5,723,250				
給料	1,140,000							
保険料	136,000							
支払利息	7,000							
	12,882,900	12,882,900						
貸倒引当金繰入								
有価証券評価（　）								
売上原価			210,000					
			5,723,250					
商品評価損								
棚卸減耗損								
（　　）								
減価償却費								
商品保証引当金（　）								
（　　）保険料								
（　　）利息								
当期純（　　）								

問題 3 次ページにこの問題の下書きシートがあります。

損 益 計 算 書

自×8年4月1日　至×9年3月31日　（単位：円）

Ⅰ 売上高		( )
Ⅱ 売上原価		
1 期首商品棚卸高	( )	
2 当期商品仕入高	( )	
合計	( )	
3 期末商品棚卸高	( )	
差引	( )	
4 棚卸減耗損	( )	
5 ( )	( )	( )
( )		( )
Ⅲ 販売費及び一般管理費		
1 給料	( )	
2 旅費交通費	( )	
3 水道光熱費	( )	
4 通信費	( )	
5 保険料	( )	
6 減価償却費	( )	
7 ( )償却	( )	
8 貸倒引当金繰入	( )	
9 貸倒損失	( )	
10 退職給付費用	( )	( )
( )		( )
Ⅳ 営業外収益		
1 受取利息	( )	
2 有価証券( )	( )	
3 ( )	( )	( )
Ⅴ 営業外費用		
1 支払利息	( )	
2 ( )	( )	( )
( )		( )
Ⅵ 特別利益		
1 ( )		( )
Ⅶ 特別損失		
1 ( )		( )
税引前当期純利益		( )
法人税、住民税及び事業税	( )	
法人税等調整額	( )	( )
当期純利益		( )

問題３の下書きシート（必要に応じてご利用ください。試験では下書きシートはつきません）

STEP 1 問題文の確認

STEP 2 仕訳の作成

1．手形の不渡り

〔 〕（ ） 〔 〕（ ）

2．売上戻り

〔 〕（ ） 〔 〕（ ）

3．貸倒損失の計上

〔 〕（ ） 〔 〕（ ）

4．貸倒引当金の設定

①売上債権にかかる貸倒引当金

〔 〕（ ） 〔 〕（ ）

②貸付金にかかる貸倒引当金

〔 〕（ ） 〔 〕（ ）

5．外貨建て買掛金の換算

〔 〕（ ） 〔 〕（ ）

6．再振替仕訳と費用の未払い

①再振替仕訳

〔 〕（ ） 〔 〕（ ）

〔 〕（ ） 〔 〕（ ）

②当期末における費用の未払い

〔 〕（ ） 〔 〕（ ）

〔 〕（ ） 〔 〕（ ）

7．売上原価の計算（期末商品の評価）

①期末商品棚卸高

②棚卸減耗損

③商品評価損

8．受取利息の処理

〔 〕（ ） 〔 〕（ ）

9．減価償却費の計上

〔　　〕（　　）□〔　　〕（　　）□

〔　　〕（　　）□〔　　〕（　　）□

10. 建設仮勘定の除却

〔　　〕（　　）□〔　　〕（　　）□

11. 退職給付引当金の設定

〔　　〕（　　）□〔　　〕（　　）□

12. ソフトウェアの償却

〔　　〕（　　）□〔　　〕（　　）□

13. 法人税、住民税及び事業税の計上

〔　　〕（　　）□〔　　〕（　　）□

14. 税効果会計

〔　　〕（　　）□〔　　〕（　　）□

STEP 3 残高試算表に転記

資料の残高試算表と仕訳のうち、収益と費用の勘定科目を□で囲みましょう。そして、仕訳の金額を残高試算表に転記しましょう。

残高試算表に転記したら□に✓をつけておきましょう。

STEP 4 財務諸表に記入

答案用紙の損益計算書に金額を記入しましょう。

問題 4

貸借対照表

×8年3月31日　　（単位：円）

資産の部			負債の部		
Ⅰ 流動資産			Ⅰ 流動負債		
1 現金預金		( )	1 支払手形		( )
2 受取手形	( )		2 買掛金		( )
3 売掛金	( )		3 未払消費税		( )
貸倒引当金	( )	( )	4 未払法人税等		( )
4 商品		( )	5 短期借入金		( )
5 前払費用		( )	6 未払費用		( )
6 未収入金		( )	7 未払金		( )
流動資産合計		( )	8 リース債務		( )
Ⅱ 固定資産			流動負債合計		( )
1 有形固定資産			Ⅱ 固定負債		
(1) 建物	( )		1 退職給付引当金		( )
減価償却累計額	( )	( )	2 長期借入金		( )
(2) 備品	( )		3 リース債務		( )
減価償却累計額	( )	( )	4 ( )		( )
(3) 車両	( )		固定負債合計		( )
減価償却累計額	( )	( )	負債合計		( )
有形固定資産合計		( )	純資産の部		
2 無形固定資産			Ⅰ 株主資本		
(1) ( )		( )	1 資本金		( )
無形固定資産合計		( )	2 資本準備金		( )
3 投資その他の資産			3 利益剰余金		
(1) その他有価証券		( )	(1) 利益準備金	( )	
投資その他の資産合計		( )	(2) 繰越利益剰余金	( )	( )
固定資産合計		( )	株主資本合計		( )
			Ⅱ 評価・換算差額等		
			1 ( )		( )
			評価・換算差額等合計		( )
			純資産合計		( )
資産合計		( )	負債・純資産合計		( )

問題４の下書きシート（必要に応じてご利用ください。試験では下書きシートはつきません）

STEP 1 問題文の確認

STEP 2 仕訳の作成

〔資料１〕未処理事項等

１．未決算の処理

〔 ］（ ）〔 ］（ ）

〔 ］（ ）〔 ］（ ）

２．当座預金の修正

⑴ 〔 ］（ ）〔 ］（ ）

⑵ 〔 ］（ ）〔 ］（ ）

〔資料２〕決算整理事項

１．貸倒引当金の設定

〔 ］（ ）〔 ］（ ）

２．売上原価の計算（期末商品の評価）

⑴ 掛け仕入（未処理）

〔 ］（ ）〔 ］（ ）

〔 ］（ ）〔 ］（ ）

⑵ 貸借対照表の「商品」の金額

３．減価償却費の計上

⑴ 取得原価の計算

⑵ 前期末における減価償却累計額

⑶ 当期の減価償却費の計上

〔 ］（ ）〔 ］（ ）

〔 ］（ ）〔 ］（ ）

〔 ］（ ）〔 ］（ ）

４．その他有価証券の評価と税効果会計

〔 ］（ ）〔 ］（ ）

〔 ］（ ）〔 ］（ ）

5．消費税の処理

〔　　〕（　　）□〔　　〕（　　）□

〔　　〕（　　）□〔　　〕（　　）□

6．退職給付引当金の設定

〔　　〕（　　）□〔　　〕（　　）□

7．借入金の分類、支払利息の処理

⑴　借入金の分類

⑵　支払利息の処理

〔　　〕（　　）□〔　　〕（　　）□

8．保険料の処理

〔　　〕（　　）□〔　　〕（　　）□

9．のれんの償却

〔　　〕（　　）□〔　　〕（　　）□

10．法人税、住民税及び事業税の計上

〔　　〕（　　）□〔　　〕（　　）□

〔　　〕（　　）□〔　　〕（　　）□

11．リース債務の表示

リース債務（流動負債）：¥＿＿＿＿＿＿

リース債務（固定負債）：¥＿＿＿＿＿＿

12．繰越利益剰余金

STEP 3　残高試算表に転記

仕訳の金額を、資料の残高試算表に転記しましょう。

残高試算表に転記したら□に✓をつけておきましょう。

STEP 4　財務諸表に記入

答案用紙の貸借対照表に金額を記入しましょう。

問題 5 次ページにこの問題の下書きシートがあります。

損 益 計 算 書

自×7年4月1日　至×8年3月31日　（単位：千円）

Ⅰ 役務収益		( )
Ⅱ 役務原価		
報酬	( )	
その他	( )	( )
売上総利益		( )
Ⅲ 販売費及び一般管理費		
1 給料	( )	
2 旅費交通費	( )	
3 水道光熱費	( )	
4 通信費	( )	
5 支払家賃	( )	
6 賞与引当金繰入	( )	
7 貸倒損失	( )	
8 貸倒引当金繰入	( )	
9 減価償却費	( )	
10 ( )償却	( )	
11 退職給付費用	( )	( )
営業利益		( )
Ⅳ 営業外収益		
1 ( )		( )
Ⅴ 営業外費用		
1 ( )		( )
経常利益		( )
Ⅵ 特別利益		
1 その他有価証券売却益		( )
Ⅶ 特別損失		
1 ( )		( )
税引前当期純利益		( )
法人税、住民税及び事業税		( )
当期純利益		( )

問題５の下書きシート（必要に応じてご利用ください。試験では下書きシートはつきません）

STEP 1 問題文の確認

STEP 2 仕訳の作成

１．売掛金の貸倒れ

〔 〕（ ） 〔 〕（ ）

〔 〕（ ） 〔 〕（ ）

２．役務原価の処理

〔 〕（ ） 〔 〕（ ）

〔 〕（ ） 〔 〕（ ）

３．役務収益と役務費用の追加計上

⑴ 役務費用の追加計上

〔 〕（ ） 〔 〕（ ）

⑵ 役務収益の追加計上

〔 〕（ ） 〔 〕（ ）

４．貸倒引当金の設定

〔 〕（ ） 〔 〕（ ）

５．再振替仕訳、費用の処理

⑴ 再振替仕訳

〔 〕（ ） 〔 〕（ ）

〔 〕（ ） 〔 〕（ ）

⑵ 費用の前払い・未払い

〔 〕（ ） 〔 〕（ ）

〔 〕（ ） 〔 〕（ ）

６．固定資産の減価償却

〔 〕（ ） 〔 〕（ ）

７．ソフトウェアの償却、除却

⑴ ソフトウェアの償却

〔 〕（ ） 〔 〕（ ）

⑵ ソフトウェアの除却

〔 〕（ ） 〔 〕（ ）

8．引当金の計上

⑴　退職給付引当金の計上

〔　　〕（　　）□〔　　〕（　　）□

⑵　賞与引当金の計上

〔　　〕（　　）□〔　　〕（　　）□

9．法人税、住民税及び事業税の計上

〔　　〕（　　）□〔　　〕（　　）□

STEP 3 残高試算表に転記

仕訳の金額を資料の残高試算表に転記しましょう。

残高試算表に転記したら□に✓をつけておきましょう。

STEP 4 財務諸表に記入

答案用紙の損益計算書に金額を記入しましょう。

問題 6

本支店合併損益計算書
自× 10 年 4 月 1 日　至× 11 年 3 月 31 日

費　用	金　額	収　益	金　額
期首商品棚卸高	( )	売　上　高	( )
当期商品仕入高	( )	期末商品棚卸高	( )
給　料	( )	受取手数料	( )
旅費交通費	( )		
貸倒引当金繰入	( )		
減価償却費	( )		
支払利息	( )		
当期純利益	( )		
	( )		( )

本支店合併貸借対照表
× 11 年 3 月 31 日

資　産	金　額		負債・純資産	金　額
現金預金		( )	支払手形	( )
受取手形	( )		買掛金	( )
売掛金	( )		短期借入金	( )
貸倒引当金	( )	( )	前受収益	( )
商　品		( )	未払費用	( )
建　物	( )		資本金	( )
減価償却累計額	( )	( )	任意積立金	( )
備　品	( )		繰越利益剰余金	( )
減価償却累計額	( )	( )		
		( )		( )

問題6の下書きシート（必要に応じてご利用ください。試験では下書きシートはつきません）

STEP 1 問題文の確認

STEP 2 仕訳の作成

1．貸倒引当金の設定

〔 〕（ ） 〔 〕（ ）

2．売上原価の計算

⑴ 期首商品棚卸高：（¥ ）

⑵ 期末商品棚卸高：（¥ ）

3．減価償却費の計上

〔 〕（ ） 〔 〕（ ）

〔 〕（ ） 〔 〕（ ）

4．受取手数料の処理

〔 〕（ ） 〔 〕（ ）

5．支払利息の処理

〔 〕（ ） 〔 〕（ ）

STEP 3 残高試算表に転記

仕訳の金額を、資料の残高試算表に転記しましょう。

残高試算表に転記したら■に✓をつけておきましょう。

STEP 4 本支店合併財務諸表に記入

答案用紙の本支店合併財務諸表に金額を記入しましょう。

問題 7

問1　本店の利益　¥＿＿＿＿＿＿＿＿

　　支店の利益　¥＿＿＿＿＿＿＿＿

問2

損 益 計 算 書

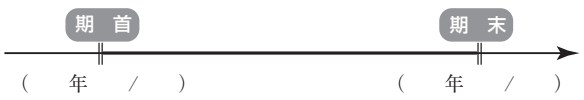
×8年4月1日から×9年3月31日　　（単位：円）

Ⅰ 売 上 高		( )
Ⅱ 売 上 原 価		
1 期首商品棚卸高	( )	
2 当期商品仕入高	( )	
計	( )	
3 期末商品棚卸高	( )	( )
売 上 総 利 益		( )
Ⅲ 販売費及び一般管理費		
1 給 料	( )	
2 支 払 家 賃	( )	
3 通 信 費	( )	
4 旅 費 交 通 費	( )	
5 貸倒引当金繰入	( )	
6 減 価 償 却 費	( )	( )
営 業 利 益		( )
Ⅳ 営 業 外 費 用		
1 支 払 利 息		( )
税引前当期純利益		( )
法人税、住民税及び事業税		( )
当 期 純 利 益		( )

問3　支店勘定の次期繰越額　¥＿＿＿＿＿＿＿＿

問題7の下書きシート（必要に応じてご利用ください。試験では下書きシートはつきません）

STEP 1 問題文の確認



STEP 2 仕訳の作成

1. 売掛金の回収

＿＿＿＿:〔　　〕(　　)　〔　　〕(　　)

2．売上原価の算定

_____:〔　　〕(　　)　〔　　〕(　　)

　　〔　　〕(　　)　〔　　〕(　　)

_____:〔　　〕(　　)　〔　　〕(　　)

　　〔　　〕(　　)　〔　　〕(　　)

⑴　期首商品棚卸高：

⑵　期末商品棚卸高：

3．貸倒引当金の設定

_____:〔　　〕(　　)　〔　　〕(　　)

_____:〔　　〕(　　)　〔　　〕(　　)

4．減価償却費の計上

_____:〔　　〕(　　)　〔　　〕(　　)

　　〔　　〕(　　)　〔　　〕(　　)

_____:〔　　〕(　　)　〔　　〕(　　)

5．支払家賃の処理

_____:〔　　〕(　　)　〔　　〕(　　)

_____:〔　　〕(　　)　〔　　〕(　　)

6．支払利息の処理

_____:〔　　〕(　　)　〔　　〕(　　)

7．法人税、住民税及び事業税の計上

_____:〔　　〕(　　)　〔　　〕(　　)

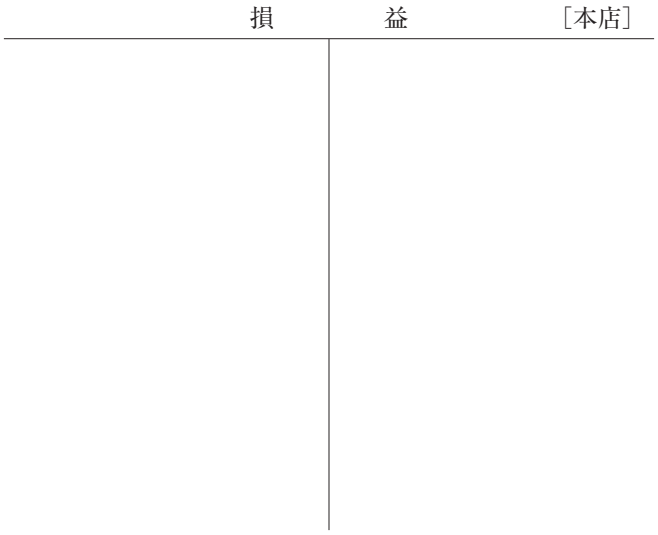
STEP 3　残高試算表に転記

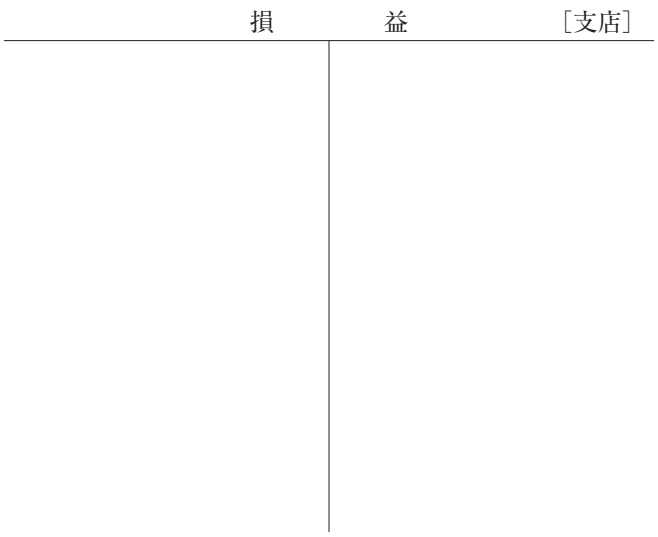
仕訳の金額を、資料の残高試算表に転記しましょう。

残高試算表に転記したら□に✓をつけておきましょう。

STEP 4 答案用紙に記入

本店と支店の損益勘定を作成し、答案用紙に答えを記入しましょう。





問題 8

次ページにこの問題の下書きシートがあります。

連結損益計算書

自×1年4月1日　至×2年3月31日

（単位：円）

売上高	（　　）
売上原価	（　　）
売上総利益	（　　）
販売費及び一般管理費	（　　）
営業利益	（　　）
営業外収益	（　　）
営業外費用	（　　）
当期純利益	（　　）
非支配株主に帰属する当期純利益	（　　）
親会社株主に帰属する当期純利益	（　　）

連結貸借対照表（×2年3月31日）の金額

	金額
商品	¥
のれん	¥
利益剰余金	¥
非支配株主持分	¥

問題８の下書きシート（必要に応じてご利用ください。試験では下書きシートはつきません）

※（A）連結修正仕訳を積み上げて解く方法と、（B）タイムテーブルを作って解く方法のいずれかをご使用ください。

（A）連結修正仕訳を積み上げて解く方法

１．支配獲得日の連結修正仕訳

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）
〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）
〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）
〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

２．連結第１年度の連結修正仕訳

⑴　開始仕訳

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）
〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）
〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）
〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

⑵　連結第１年度の連結修正仕訳

①のれんの償却

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

②子会社の当期純利益の振り替え

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

③子会社の配当金の修正

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）
〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

④売上高と売上原価の相殺消去

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

⑤期末商品に含まれる未実現利益の消去

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

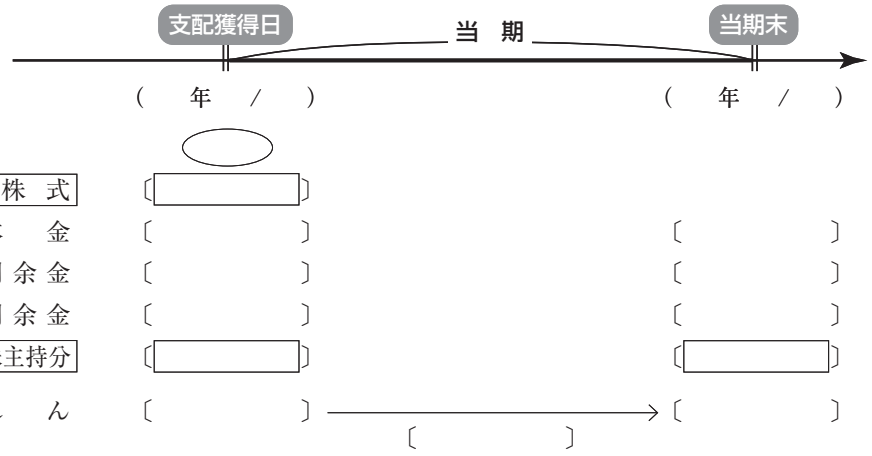
⑥債権債務の相殺消去

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

⑦期末貸倒引当金の修正

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

(B) タイムテーブルを作って解く方法



●連結第１年度の連結修正仕訳

⑴　開始仕訳

〔　　〕(　　)〔　　〕(　　)
〔　　〕(　　)〔　　〕(　　)
〔　　〕(　　)〔　　〕(　　)
〔　　〕(　　)〔　　〕(　　)

⑵　連結第１年度の連結修正仕訳

①のれんの償却

〔　　〕(　　)〔　　〕(　　)

②子会社の当期純利益の振り替え

〔　　〕(　　)〔　　〕(　　)

③子会社の配当金の修正

〔　　〕(　　)〔　　〕(　　)
〔　　〕(　　)〔　　〕(　　)

④売上高と売上原価の相殺消去

〔　　〕(　　)〔　　〕(　　)

⑤期末商品に含まれる未実現利益の消去

〔　　〕(　　)〔　　〕(　　)

⑥債権債務の相殺消去

〔　　〕(　　)〔　　〕(　　)

⑦期末貸倒引当金の修正

〔　　〕(　　)〔　　〕(　　)

問題 9

連結第２年度　　連　結　精　算　表　　（単位：千円）

科　　目	個別財務諸表		修正・消去		連結財務諸表
	P　社	S　社	借　方	貸　方	
貸借対照表					連結貸借対照表
諸資産	1,310,000	286,000			
売掛金	180,000	98,000			
商品	80,000	31,600			
S社株式	192,000				
（　　）					
資産合計	1,762,000	415,600			
諸負債	（600,400）	（53,640）			（　　）
買掛金	（94,000）	（60,000）			（　　）
貸倒引当金	（3,600）	（1,960）			（　　）
資本金	（480,000）	（160,000）			（　　）
資本剰余金	（160,000）	（60,000）			（　　）
利益剰余金	（424,000）	（80,000）			
					（　　）
非支配株主持分					
					（　　）
負債・純資産合計	（1,762,000）	（415,600）			（　　）
損益計算書					連結損益計算書
売上高	（960,000）	（340,000）			（　　）
売上原価	460,000	230,000			
販売費及び一般管理費	360,000	86,000			
営業外収益	（12,000）	（10,000）			（　　）
営業外費用	8,000	4,000			
（　　）償却					
当期純利益	（144,000）	（30,000）			（　　）
非支配株主に帰属する当期純利益					
親会社株主に帰属する当期純利益					（　　）

問題９の下書きシート（必要に応じてご利用ください。試験では下書きシートはつきません）

※（A）連結修正仕訳を積み上げて解く方法と、（B）タイムテーブルを作って解く方法のいずれかをご使用ください。

（A）連結修正仕訳を積み上げて解く方法

１．支配獲得日の連結修正仕訳

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）
〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）
〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）
〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

２．連結第１年度の連結修正仕訳

⑴　開始仕訳

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）
〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）
〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）
〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

⑵　連結第１年度の連結修正仕訳

①のれんの償却

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

②子会社の当期純利益の振り替え

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

３．連結第２年度の連結修正仕訳

⑴　開始仕訳

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）
〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）
〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）
〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

⑵　連結第２年度の連結修正仕訳

①のれんの償却

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

②子会社の当期純利益の振り替え

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

③子会社の配当金の修正

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）
〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

④売上高と売上原価の相殺消去

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

⑤期末商品に含まれる未実現利益の消去

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

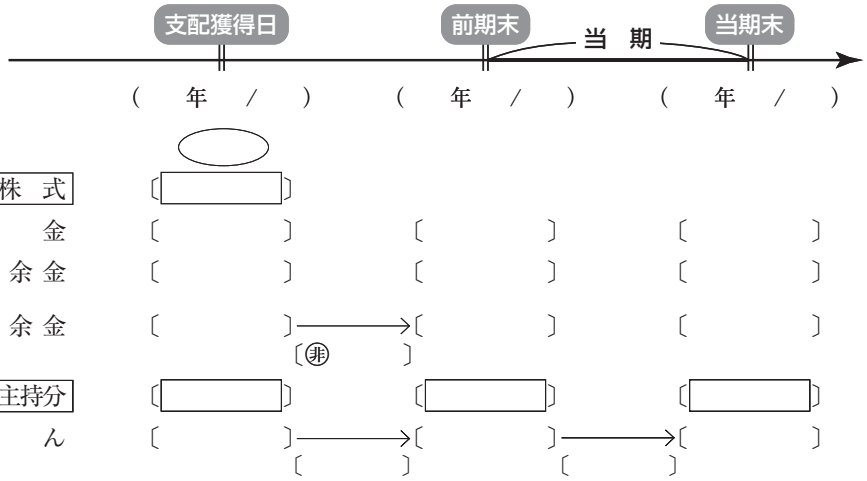
⑥債権債務の相殺消去

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

⑦期末貸倒引当金の修正

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

(B) タイムテーブルを作って解く方法



●連結第2年度の連結修正仕訳

(1) 開始仕訳

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

(2) 連結第2年度の連結修正仕訳

①のれんの償却

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

②子会社の当期純利益の振り替え

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

③子会社の配当金の修正

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

④売上高と売上原価の相殺消去

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

⑤期末商品に含まれる未実現利益の消去

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

⑥債権債務の相殺消去

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

⑦期末貸倒引当金の修正

〔　　〕（　　）〔　　〕（　　）

問題 10

貸借対照表

× 8 年 3 月31日　　（単位：円）

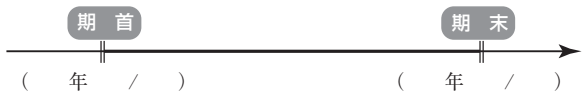
資産の部			負債の部	
Ⅰ 流動資産			Ⅰ 流動負債	
現金預金		( )	支払手形	266,000
受取手形		( )	買掛金	( )
売掛金		( )	未払法人税等	( )
材料		( )	( )引当金	( )
仕掛品		( )	流動負債合計	( )
製品		( )	Ⅱ 固定負債	
短期貸付金		( )	長期借入金	400,000
貸倒引当金		△( )	( )引当金	( )
流動資産合計		( )	固定負債合計	( )
Ⅱ 固定資産			負債の部合計	( )
建物	( )		純資産の部	
減価償却累計額	( )	( )	資本金	6,512,700
機械装置	( )		利益準備金	( )
減価償却累計額	( )	( )	繰越利益剰余金	( )
固定資産合計		( )	純資産の部合計	( )
資産の部合計		( )	負債･純資産合計	( )

区分式損益計算書に表示される利益

① 売上総利益	¥
② 営業利益	¥
③ 経常利益	¥
④ 当期純利益	¥

問題10の下書きシート（必要に応じてご利用ください。試験では下書きシートはつきません）

STEP 1 問題文の確認



STEP 2 仕訳の作成

1．3 月の取引

(1) 材料の購入、消費

〔　　〕(　　)　〔　　〕(　　)

〔　　〕(　　)　〔　　〕(　　)
〔　　〕(　　)　〔　　〕(　　)

(2) 賃金の支払い、消費

〔　　〕(　　)　〔　　〕(　　)
〔　　〕(　　)　〔　　〕(　　)

(3) 製造間接費の予定配賦

〔　　〕(　　)　〔　　〕(　　)

(4) 製造間接費の支払い（間接材料費と以下の事項以外）

〔　　〕(　　)　〔　　〕(　　)

(5) 製品の完成

〔　　〕(　　)　〔　　〕(　　)

(6) 製品の売上

〔　　〕(　　)　〔　　〕(　　)
〔　　〕(　　)　〔　　〕(　　)

2．棚卸減耗

(1) 材料の棚卸減耗

〔　　〕(　　)　〔　　〕(　　)
〔　　〕(　　)　〔　　〕(　　)

(2) 製品の棚卸減耗

〔　　〕(　　)　〔　　〕(　　)

3．固定資産の減価償却

〔　　〕(　　)　〔　　〕(　　)
〔　　〕(　　)　〔　　〕(　　)
〔　　〕(　　)　〔　　〕(　　)
〔　　〕(　　)　〔　　〕(　　)

4．貸倒引当金の設定

〔　　〕(　　)　〔　　〕(　　)
〔　　〕(　　)　〔　　〕(　　)

5．退職給付引当金の設定と原価差異

(1) 退職給付引当金の設定

〔　　〕(　　)　〔　　〕(　　)
〔　　〕(　　)　〔　　〕(　　)
〔　　〕(　　)　〔　　〕(　　)

(2) 原価差異

〔　　〕(　　)　〔　　〕(　　)

6．製品保証引当金の設定

(1) 製品保証引当金の設定と戻入れ

〔　　〕(　　)　〔　　〕(　　)
〔　　〕(　　)　〔　　〕(　　)

⑵　営業外収益への振り替え

〔　　〕（　　）　〔　　〕（　　）

〔　　〕（　　）　〔　　〕（　　）

7．製造間接費配賦差異の把握と振り替え

⑴　退職給付引当金の繰入額以外の原価差異の把握

〔　　〕（　　）　〔　　〕（　　）

⑵　原価差異の振り替え

〔　　〕（　　）　〔　　〕（　　）

8．決算整理後の損益計算書の金額

⑴　売上高

⑵　売上原価

⑶　売上総利益

⑷　販売費及び一般管理費

⑸　営業利益

⑹　営業外収益

⑺　営業外費用

⑻　経常利益

⑼　特別利益

⑽　特別損失

⑾　税引前当期純利益

⑿　法人税、住民税及び事業税

〔　　〕（　　）　〔　　〕（　　）

〔　　〕（　　）　〔　　〕（　　）

⒀　当期純利益

STEP 3　財務諸表に記入

答案用紙の貸借対照表と区分損益計算書に表示される利益に金額を記入しましょう。

第４問対策　実践問題（答案用紙）

問題 1　次ページにこの問題の下書きシートがあります。

製造間接費

間接材料費	( )	仕掛品	( )
間接労務費	( )	原価差異	( )
間接経費	( )		
	( )		( )

仕掛品

期首有高	22,400	当期完成高	( )
直接材料費	( )	期末有高	30,000
直接労務費	( )		
直接経費	( )		
製造間接費	( )		
	( )		( )

損益計算書

（単位：円）

Ⅰ 売上高		1,380,000
Ⅱ 売上原価		
(1) 期首製品棚卸高	24,000	
(2) 当期製品製造原価	( )	
合計	( )	
(3) 期末製品棚卸高	36,000	
差引	( )	
(4) 原価差異	( )	( )
売上総利益		( )
Ⅲ 販売費及び一般管理費		( )
営業利益		( )

問題１の下書きシート（必要に応じてご利用ください。試験では下書きシートはつきません）

※　資料に原価の分類を記入してから解きましょう。

直接材料費…「直材」　間接材料費…「間材」　直接労務費…「直労」　間接労務費…「間労」 直 接 経 費…「直経」　間 接 経 費…「間経」　販　売　費…「 ㊦ 」　一般管理費…「 ㊀ 」

⑴素　　材

仕　　掛　　品

⑵補 修 用 材 料

製 造 間 接 費

間材	
間労	
間経	

⑷賃　　金

問題 2

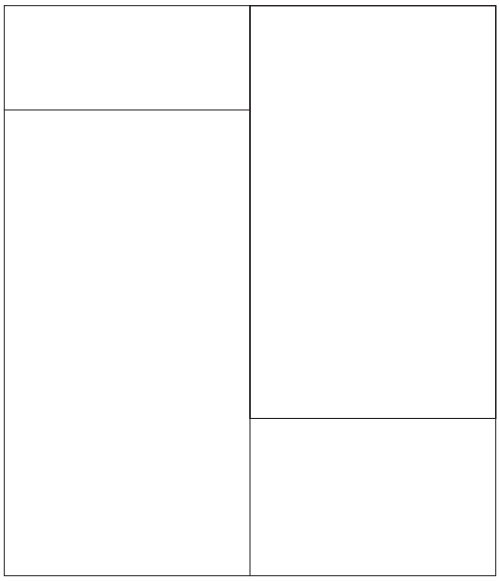
	借方科目	金　額	貸方科目	金　額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				
(5)				
(6)				

問題 3

	借方科目	金　額	貸方科目	金　額
7/4				
7/7				
7/17				
7/21				
7/23				
7/31				

問題 3 の下書きシート（必要に応じてご利用ください。試験では下書きシートはつきません）

A　材　料



問題 4

	借方科目	金　額	貸方科目	金　額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				
(5)				
(6)				
(7)				

問題 5

仕　掛　品

10/ 1	月初有高	( )	10/31	当月完成高	( )
31	直接材料費	( )	〃	月末有高	( )
〃	直接労務費	( )			
〃	製造間接費	252,000			
		( )			( )

製　品

10/ 1	月初有高	( )	10/31	売上原価	( )
31	当月完成高	( )	〃	月末有高	( )
		( )			( )

問題 5 の下書きシート（必要に応じてご利用ください。試験では下書きシートはつきません）

仕　掛　品

製　品

問題 6

(A)

製造間接費部門別配賦表　　(単位：円)

摘　　要	合　計	製造部門		補助部門		
		第1製造部門	第2製造部門	修繕部門	材料倉庫部門	工場事務部門
部門個別費	7,250,000	3,200,000	2,880,000	384,000	508,000	278,000
部門共通費						
機械保険料						
部門費						
修繕部門費						
材料倉庫部門費						
工場事務部門費						
製造部門費						

(B)

借方科目	金　額	貸方科目	金　額

第５問対策　実践問題（答案用紙）

問題 1

問１

総合原価計算表　（単位：円）

	A材料費	B材料費	加工費	合計
月初仕掛品原価	123,000	0	122,000	245,000
当月製造費用	1,647,000	556,500	2,056,400	4,259,900
合計	1,770,000	556,500	2,178,400	4,504,900
差引：月末仕掛品原価				
完成品総合原価				
完成品単位原価				

問２　売上原価＝［　　］円

問題１の下書きシート（必要に応じてご利用ください。試験では下書きシートはつきません）

（　　）仕　掛　品（　　）

（　　）仕　掛　品（　　）

（　　）仕　掛　品（　　）

製　品（　　）

問題 2

問 1

総 合 原 価 計 算 表　　（単位：円）

	直接材料費	加　工　費	合　　計
月 初 仕 掛 品 原 価	371,400	128,400	499,800
当 月 製 造 費 用	3,570,000	4,451,200	8,021,200
合　　計	3,941,400	4,579,600	8,521,000
差引：月末仕掛品原価			
完 成 品 総 合 原 価			
完 成 品 単 位 原 価			

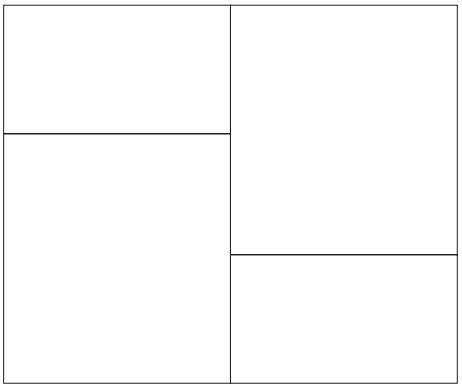
問 2　完成品総合原価＝［　　］円

問 3　完成品総合原価＝［　　］円

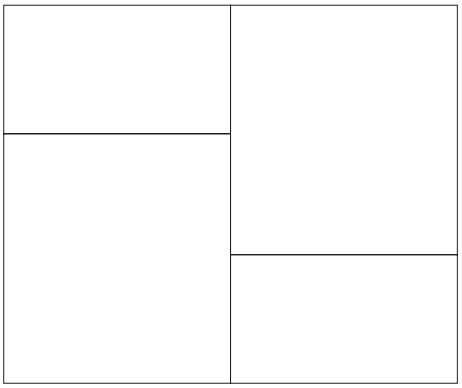
問題２の下書きシート（必要に応じてご利用ください。試験では下書きシートはつきません）

問１・問２

仕　掛　品（　　）

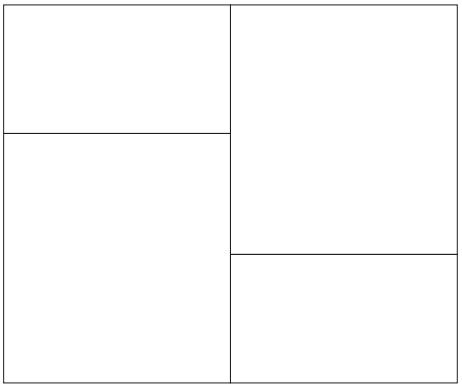


仕　掛　品（　　）

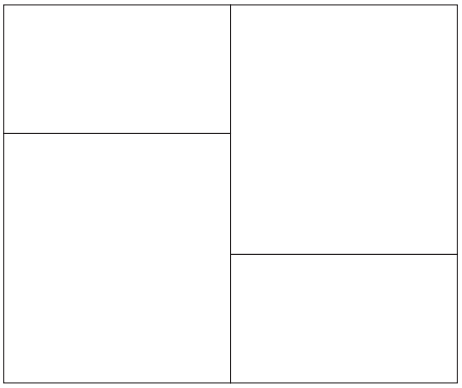


問3

仕　掛　品（　　）



仕　掛　品（　　）



問題 3 次ページにこの問題の下書きシートがあります。

仕掛品－第１工程　（単位：円）

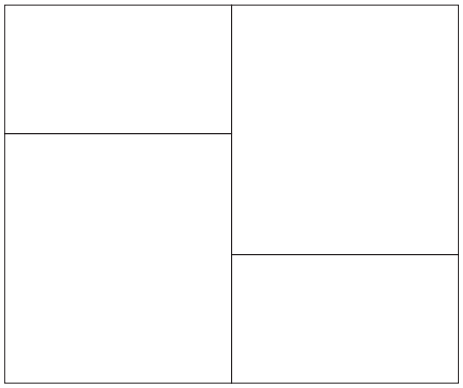
月初有高：		次工程振替高：	
直接材料費	242,000	直接材料費	( )
加工費	48,300	加工費	( )
小計	290,300	小計	( )
当月製造費用：		月末有高：	
直接材料費	7,753,200	直接材料費	( )
加工費	4,956,180	加工費	( )
小計	12,709,380	小計	( )
	( )		( )

仕掛品－第２工程　（単位：円）

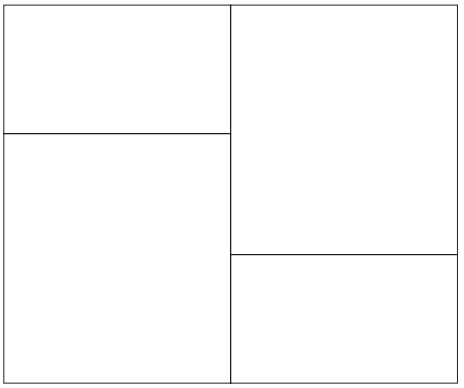
月初有高：		当月完成高：	
前工程費	702,400	前工程費	( )
加工費	233,520	加工費	( )
小計	935,920	小計	( )
当月製造費用：		月末有高：	
前工程費	( )	前工程費	( )
加工費	4,566,480	加工費	( )
小計	( )	小計	( )
	( )		( )

問題３の下書きシート（必要に応じてご利用ください。試験では下書きシートはつきません）

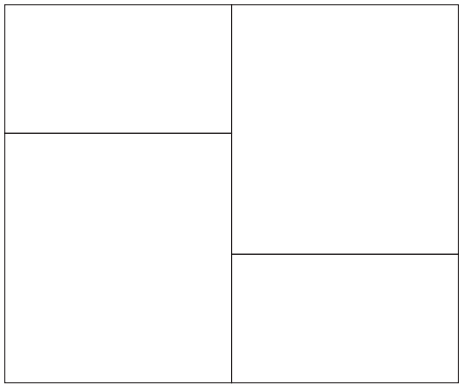
仕掛品－第１工程（　　）



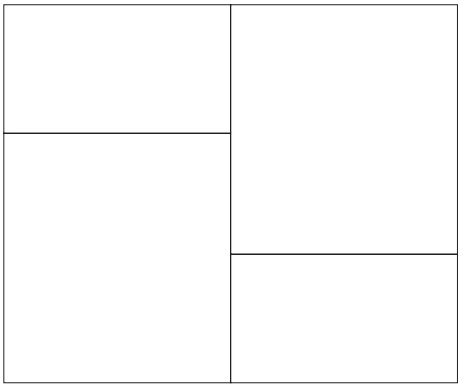
仕掛品－第１工程（　　）



仕掛品－第２工程（　　）



仕掛品－第２工程（　　）



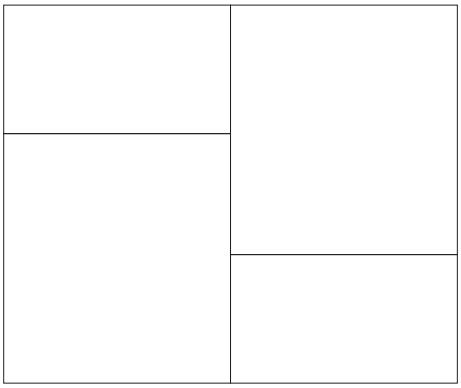
問題 4 次ページにこの問題の下書きシートがあります。

工程別総合原価計算表　（単位：円）

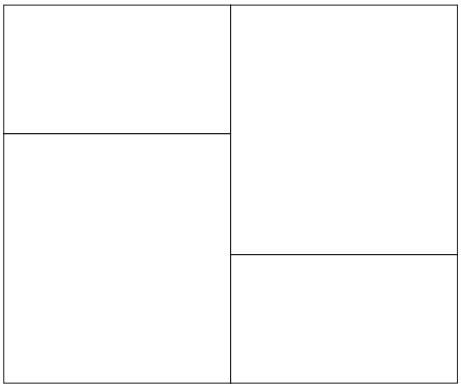
	第 1 工 程			第 2 工 程			
	原 料 費	加 工 費	合　　計	前工程費	原 料 費	加 工 費	合　　計
月初仕掛品原価	0	0	0	154,000	0	35,600	189,600
当 月 製 造 費 用	900,000	2,150,000	3,050,000		378,000	1,548,400	
合　　計	900,000	2,150,000	3,050,000		378,000	1,584,000	
月末仕掛品原価							
完成品総合原価							

問題 4 の下書きシート（必要に応じてご利用ください。試験では下書きシートはつきません）

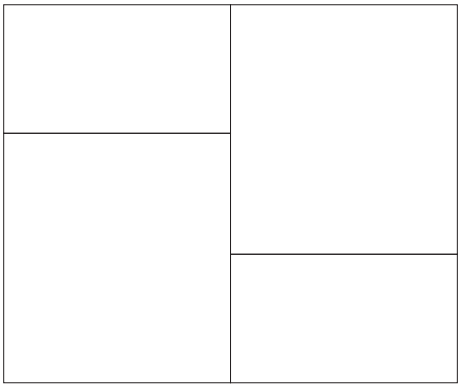
仕掛品－第 1 工程（　　）



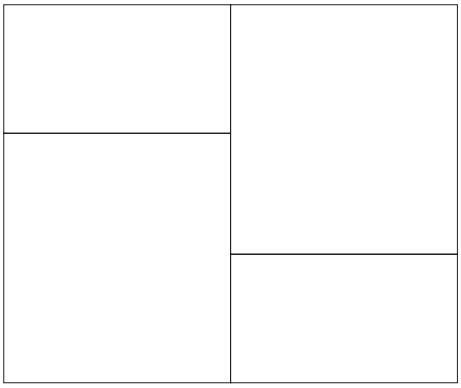
仕掛品－第 1 工程（　　）



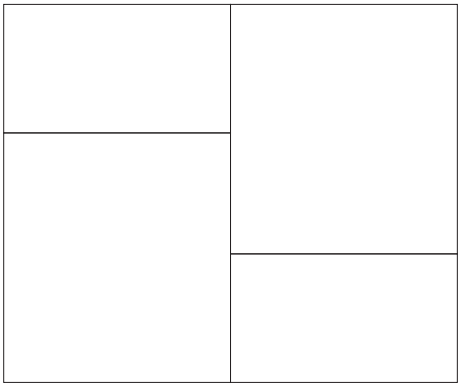
仕掛品－第 2 工程（　　）



仕掛品－第 2 工程（　　）



仕掛品－第 2 工程（　　）



問題 5

問 1

組別総合原価計算表　　（単位：円）

	A 製 品	B 製 品
月初仕掛品原価		
当 月 原 料 費		
当 月 加 工 費		
合　　計		
月末仕掛品原価		
完成品総合原価		

問 2

損 益 計 算 書　　（単位：円）

Ⅰ．売　上　高		（　　）
Ⅱ．売 上 原 価		
1．月初製品棚卸高	134,300	
2．当月製品製造原価	（　　）	
合　　計	（　　）	
3．月末製品棚卸高	（　　）	（　　）
売 上 総 利 益		（　　）

問題 5 の下書きシート（必要に応じてご利用ください。試験では下書きシートはつきません）

（　　）仕掛品－A（　　）

（　　）仕掛品－A（　　）

製　品－A（　　）

（　　）仕掛品－B（　　）

（　　）仕掛品－B（　　）

製　品－B（　　）

問題 6

(A) 月末仕掛品原価 = [　　] 円

製品Yの完成品総合原価 = [　　] 円

製品Zの完成品単位原価 = [　　] 円／個

(B)

損　益　計　算　書　　(単位：円)

Ⅰ．売　上　高		(　　)
Ⅱ．売 上 原 価		
1．月初製品棚卸高	996,480	
2．当月製品製造原価	(　　)	
合　計	(　　)	
3．月末製品棚卸高	741,600	
差　引	(　　)	
4．原 価 差 異	(　　)	(　　)
売上総利益		(　　)
Ⅲ．販売費及び一般管理費		1,172,000
営 業 利 益		(　　)

問題6の下書きシート（必要に応じてご利用ください。試験では下書きシートはつきません）

(　　) 仕　掛　品(　　)

(　　) 仕　掛　品(　　)

問題 7　次ページにこの問題の下書きシートがあります。

問 1

月次予算損益計算書　（単位：円）

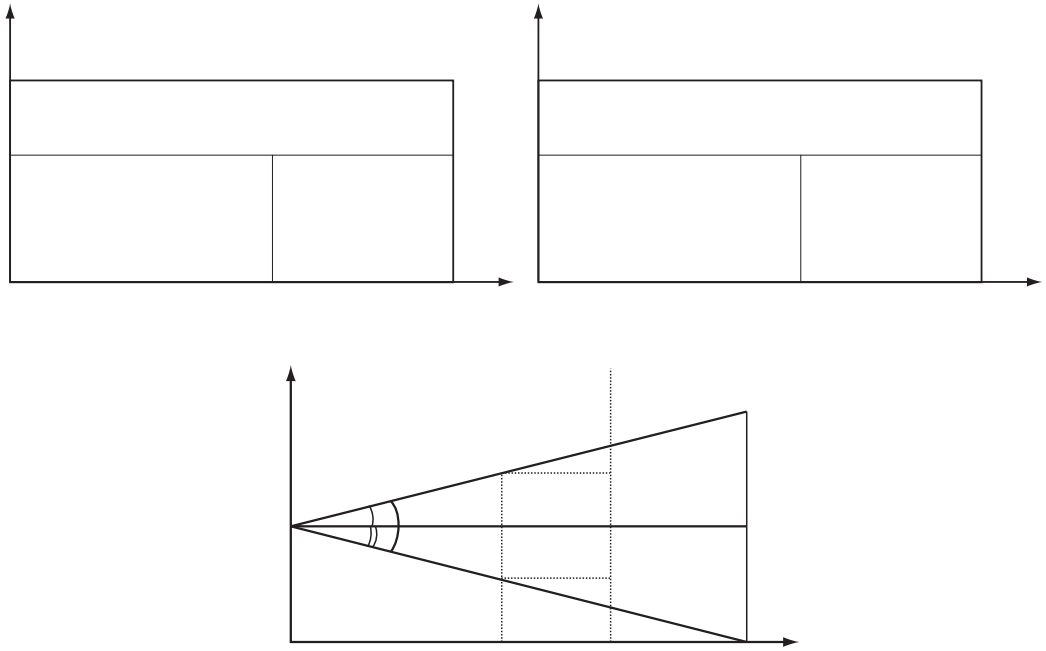
Ⅰ．売　上　高	（　　）
Ⅱ．売 上 原 価	（　　）
売 上 総 利 益	（　　）
Ⅲ．販売費及び一般管理費	（　　）
営 業 利 益	（　　）

問 2

直接材料費総差異	（　　）円
価 格 差 異	（　　）円
数 量 差 異	（　　）円
直接労務費総差異	（　　）円
賃 率 差 異	（　　）円
時 間 差 異	（　　）円
製造間接費総差異	（　　）円
予 算 差 異	（　　）円
能 率 差 異	（　　）円
操 業 度 差 異	（　　）円

※　不利差異には△をつけること。

問題 7 の下書きシート（必要に応じてご利用ください。試験では下書きシートはつきません）



問題 8　次ページにこの問題の下書きシートがあります。

問1

全部原価計算方式の損益計算書　（単位：円）

Ⅰ．売　上　高		（　　）
Ⅱ．売 上 原 価		
1．月初製品棚卸高	0	
2．当月製品製造原価	（　　）	
計	（　　）	
3．月末製品棚卸高	（　　）	（　　）
売 上 総 利 益		（　　）
Ⅲ．販売費及び一般管理費		（　　）
営 業 利 益		（　　）

問2

直接原価計算方式の損益計算書　（単位：円）

Ⅰ．売　上　高		（　　）
Ⅱ．変動売上原価		
1．月初製品棚卸高	0	
2．当月製品製造原価	（　　）	
計	（　　）	
3．月末製品棚卸高	（　　）	（　　）
変動製造マージン		（　　）
Ⅲ．変 動 販 売 費		（　　）
貢 献 利 益		（　　）
Ⅳ．固　定　費		（　　）
営 業 利 益		（　　）

問3

(A)　貢 献 利 益 率　　％

(B)　売上高営業利益率　　％

(C)　損益分岐点売上高　　円

問題8の下書きシート（必要に応じてご利用ください。試験では下書きシートはつきません）

製　　品

損　益　計　算　書（直接原価計算）	
Ⅰ．売　上　高	（　　）
Ⅱ．変　動　費	（　　）
貢　献　利　益	（　　）
Ⅲ．固　定　費	（　　）
営　業　利　益	（　　）

問題 9

問1　製品1個あたりの変動費 [　　] 円/個

月間固定費 [　　] 円

問2　(A) [　　] 円

(B) [　　] %

(C) [　　] 円

(D) [　　] 個

問題9の下書きシート（必要に応じてご利用ください。試験では下書きシートはつきません）

損　益　計　算　書（直接原価計算）	
Ⅰ．売　上　高	（　　）
Ⅱ．変　動　費	（　　）
貢　献　利　益	（　　）
Ⅲ．固　定　費	（　　）
営　業　利　益	（　　）